

授業 科目名	【G】	法哲学Ⅰ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2	
	【H】	法哲学Ⅰ			【H】3		【H】2	
	【I】	法哲学Ⅰ	その他参照		【I】3		【I】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	法と正義について				担当者	松野 有		
授業概要	【概要】	法とは何か。正義とは何か。いずれも単純な問いであるが、簡潔にひとことで表現することは難しい。これらの問いに正確に答えるためには、法概念論や正義論において、これまでどのような議論が積み重ねられてきたのかを詳しく知る必要がある。本講義は、このような問題について、哲学的な考察をもって、できる限り明確な回答を付与しようとする試みである。法哲学は一般的に、法概念論、正義論、法解釈論の三分野に分けられるが、本講義では正義論に重きを置き講義を進めていく。伝統的な正義の定式化からはじめ、最先端の正義に関する議論にも触れる予定である。現代的な問題について、法哲学の見地からいかに解決へ導くことができるかについて学習することが本講義の主題である。						
	【到達目標】	正義論についての基礎的な知識を習得することを到達目標とする。例えば、功利主義や直観主義の内容を正確に理解するとともに、その対立構造を把握することなどである。また、哲学的な考察方法を習得することも目標となる。これらは、義務論など倫理学上の議論と重複する点多々ある。現代的な社会問題について、法哲学的な議論ができるようになることを目標とする。						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連	法哲学は実定法をはじめ様々な分野の知識を横断する。また、倫理学・哲学との関連性も密接である。							
教科書	授業中に、適宜、資料を配布する。							
参考書	瀧川裕英、宇佐美誠、大屋雄裕『法哲学』（有斐閣、2014年）							
評価方法	定期試験100%							
フィードバック 方法	教員が採点・評価をした答案を返却する。							
評価基準	定期試験の点数により評価を行う。90点以上の者には「S」、80点以上の者には「A」、70点以上の者には「B」、60点以上の者には「C」を与える。なお、試験欠席など、評価不能の場合には「F」とする。							

授業 科目名	【G】	法哲学 I	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	法哲学 I	その他参照		【H】3		【H】2
科目名	【I】	法哲学 I			【I】3		【I】2
授業回数	授業内容						
1	法哲学となはにか						
	予習:	なし	復習:	法哲学を学ぶ意義について復習する。			
2	ロールズ以前の正義論						
	予習:	なし	復習:	アリストテレスらの正義論を復習する。			
3	功利主義						
	予習:	なし	復習:	ベンサムやミルの思想を復習する。			
4	ロールズ正義論 (1)						
	予習:	なし	復習:	ロールズ正義論について復習する。			
5	ロールズ正義論 (2)						
	予習:	なし	復習:	ロールズ正義論について復習する。			
6	自由とリベラリズム						
	予習:	なし	復習:	リベラリズムの思想について復習する。			
7	自由とリバタリアニズム						
	予習:	なし	復習:	リバタリアンの思想について復習する。			
8	正義としての平等 (1)						
	予習:	なし	復習:	平等についての思想を復習する。			
9	正義としての平等 (2)						
	予習:	なし	復習:	平等についての思想を復習する。			
10	正義としての権利 (1)						
	予習:	なし	復習:	利益説などについて理解を深める。			
11	正義としての権利 (2)						
	予習:	なし	復習:	ホーフェルドの定式を復習する。			
12	共同体論、フェミニズム論、多文化主義						
	予習:	なし	復習:	共同体論などについて復習する。			
13	国際的正義論、世代間正義、生命倫理						
	予習:	なし	復習:	国際的正義論などについて復習する。			
14	応報的正義について						
	予習:	なし	復習:	応報的正義について復習する。			
15	試験実施・問題の解説						
	予習:	なし	復習:	試験問題について復習する。			
その他	法思想史の授業と関連性の深い内容を取り扱うので、講義内容に関心のある生徒は、後期の法思想史の授業の履修もすることが望ましい。 ※G・H・I:【選択必修(ス)】						